

素敵な助産師さん、見～つけた！

はる助産院で勤務しております、池田希美です。今年の4月から地域での助産師活動を開始しました。本当にたくさんの諸先輩方にご支援を賜り、深く感謝申し上げます。

私は、助産師学生時から「いつかは地域で助産師として働きたい！」と考えていました。助産師学校卒業後は、香川大学医学部附属病院で15年間勤務させて頂きました。勤務するにつれ、大学病院での助産師活動に夢中になり、学生時代の夢はいつしか遠い記憶になっていました。地域での助産師活動への思いが再燃するきっかけになったのは、自分の出産・育児体験でした。母乳育児で乳腺炎を繰り返し、何度も挫折しそうになる私を支えてくださったのは、母乳育児のスペシャリストである助産師でした。その方との関わりを通し、「やっぱり、地域での助産師活動を通してお母さんと赤ちゃんの力になりたい。」という思いは年々強くなり、一念発起し2024年4月から桶谷式乳房管理法研修センターで1年間の研修を履修しました。現在は、はる助産院での活動に加え、高松市新生児訪問、ほっと相談室等の活動に従事させて頂いております。私の勤務する、はる助産院は2025年6月に高松市小村町で産後ケア（デイケア）を開始しました。院長の堤とともに、母子とそこご家族の力になれるよう邁進しています。日々、母子のニーズに応えることの楽しさや難しさに直面し、産後ケアに従事する専門職として継続的な研鑽の重要性を感じています。若輩者ではありますが、助産師として常にレベルアップし、母子とそこご家族の力になれるよう努力いたしますので、今後ともご支援ご鞭撻のほどよろしくお願い申し上げます。



10～12月の研修会及び学会

学会名・テーマ 研修会 演題名・講師名	開催日時 場所	定員	参加費 会員 / 非会員
研修会 仮)「子どもへの虐待予防と 虐待対応における助産師の役割」 独) 国立病院機構こどもとおとなの医療セ ンター 小児アレルギー科医長・育児支援対策室長 木下 あゆみ 医師	10月5日(日) 10:30～12:00 いのちの応援舎 (高松市春日町1176)	30	1000円 / 2500円
日本助産師会 中国・四国地区研修 山口県助産師会 「あなたのそばに 助産師がいます ～助産師は みんなのお母さん～」	10月25(土)～ 26日(日) KDDI 維新ホール 山口市令和1-1-1	—	* 申込期限: 9/20 ※詳細は日本助産 師会 HP、学会誌にて ご確認ください。
第18回 香川県小児保健協会研究会 テーマ「みんなでビタミン愛(EYE)まつり 目と目を合わせてこころを育てる」	10月26日(日) サンポート高松 6階 かがわ国際会議場	—	※詳細は学会 HPにてご確認ください。
研修会 「無痛分娩の実際と助産師の役割」 森産婦人科医院 院長 森 信博 医師	12月7日(日) 10:30～12:00 いのちの応援舎 (高松市春日町1176)	30	1000円 / 2500円

☆計画変更は「とらうべ通信」及びホームページに掲載します。

《参加の申し込み》

すこやか助産師センター事務所へ、電話またはFAXで申し込みをしてください。

Tel: 087-844-4131 Fax: 087-844-4130 電話受付時間: 月から金曜日の10:00～15:45(祝祭日を除く)

とらうべ通信

2025. 8月号

No.109

発行所: (社)香川県助産師会 高松市春日町1176
発行責任者: 佐々木 三千代 ☎: 087-844-4131 FAX: 087-844-4130

副会長挨拶

副会長 宮本政子

香川県助産師会の会員の皆様、いつも香川の母子保健に貢献していただきありがとうございます。久しぶりに原稿を書いており、なんだか懐かしいような気がしております。さて、今年の梅雨の短いこと、そして毎日暑いこと、地球はこれからどうなるのかと本気で心配しております。香川県助産師会では5月に総会を開催し、令和6年度の活動と令和7年度の事業計画を承認していただきました。

それに伴い令和7年度の活動を開始しているところです。4月号でもお知らせしましたが今年度は香川母性学会の学術集会を11月29日に開催します。「未来につなげる助産師活動」がメインテーマで、シンポジウムや特別講演が計画され、一般演題として研究発表もあります。この機会にぜひ会員になっていただき、日頃の助産師活動を分析して発表して下さい。演題の応募締め切りは9月5日です。なお、学術集会は会員でなくても参加できますので、多くの参加をお待ちしております。そのほかでは、産後ケア事業の受託契約がこれまで市町ごとに個別に行われていましたが、香川県のご尽力で県内一括の集合契約方式になりました。市町による運用方法の差がなくなり、産後ケア事業を推進する一歩になると思われます。産後ケアへのニーズは年々高まっており、助産師の専門的能力を発揮する場として事業の充実が期待されるところです。今年度の総会では役員選挙があり、新理事では副会長に中橋尚子様、勤務部会長に川原直美様が就任されました。これまで直井初美様には副会長として、小松千秋様には勤務部会長として長きにわたり香川県助産師会活動を支えていただきました。心より御礼申し上げます。今後も変わらずご協力いただきますようお願いいたします。世の中は備蓄米騒動やトランプ関税に関するニュースで溢れ、参議院選挙が霞んでしまっています。この号が発刊される頃には選挙結果も明らかになっていると思います。日本の未来を憂えない結果になっていることを期待しています。毎日暑い日が続いておりますが、お体を大切にされて母子やご家族のためにご活躍することを祈念しております。



令和7年度 公益社団法人 日本助産師会通常総会報告

代議員 鈴木佳奈子 小原井恵美



令和7年5月16日に東京の一橋大学 一橋講堂で日本助産師会通常総会が行われました。しかし、今年度は任期途中での会長交代やコンプライアンス事案について会員より説明請求の要請があり、前日の5月15日に異例ともいえる臨時総会が行われました。臨時総会では前会長の解職やコンプライアンス事案に対する説明がなされましたが、参加代議員の半数近くがその説明に納得できず会員からの厳しい追及があり激しい論争となりました。そして総会では、役員選挙前に社員（会員）より監事3名、理事12名の解任請求がなされました。これにより次期候補の理事が3名解任となり波乱の幕開けとなりました。その後実施された、令和7年度の役員選挙では、新しい候補者を含め13名が承認されましたが、理事定数（定数14名）に満たないという結果となりました。日本助産師会HPの会員マイページをご覧の方はご存知と思いますが、8月4日から8月6日に電子投票による再選挙が行われる予定です。臨時総会、通常総会共に代議員の活発な意見が交わされ、香川県代表として参加している事の重みを感じました。分娩費用の保険化の問題、助産院の嘱託医問題等弱い立場の助産師を守り、安心して助産師としての活動を継続していけるよう今一度日本助産師会が一致団結する事を切に願うところです。



第26回 香川母性衛生学会総会・学術集会の開催

2025年11月29日（土）に香川大学医学部で「第26回 香川母性衛生学会総会・学術集会」を開催いたします。「未来につなげる 助産師活動」をテーマに少子化社会の中で妊娠期～子育て期を行政や他職種と協働しながら助産師らしい働き方を考える会にしたいと思います。会員の皆様のご参加を心よりお待ちしております。

日時：2025年11月29日（土） 12：30～17：30

場所：香川大学医学部臨床講義棟2階

《プログラム》

1. 一般演題
2. シンポジウム 「安心して地域で子育てができるための産後ケア」
3. 特別講演 「未来につながる自律した助産師活動」

講師 前神戸市看護大学教授高田昌代

※シンポジウム、特別講演はGLoCMiPレベルⅢの選択研修

香川母性衛生学会のHPにも掲載されています。ご参照ください。



第29回を迎える「いいお産の日」

西会場実行委員長 中橋尚子



11月3日（1103 イイ オサン）ではなく、西会場は例年11月第2日曜日に実施しており今年も11月9日（日）丸亀市岡田コミュニティセンターで開催します。

第10回から高松会場とは別に西会場でも開催することになり、奇しくも「第1回いいお産の日西会場」の実行委員長は私でした。会場探しに始まり実行委員の選出、企画・運営、内容検討、他団体との連携等・・・全てが一から。実行委員会の場所（国立善通寺病院内）を提供してくれた直井副実行委員長との手探りの毎日が今でも懐かしい思い出です。それから回を重ねる毎に西会場ならではのノウハウを生かし、コロナ禍以降は最小限の実行委員会で最大限の効果を提供できる実行委員と「来場される方も、私たちも楽しむ」スタンスで行っています。今年も予約不要ですが「赤ちゃんの抱っこと沐浴」「ベビーマッサージ」「マタニティヨーガ」は当日受付で整理券を配布します。昨年の共催企画がなくなった分「赤ちゃん～」と「ベビマ」は実施回数を増やしています。「計測・足形スタンプ・助産師相談」は選べる用紙とスタンプで可愛い足形に目を細めながら、ゆったり相談をお受けします。マタニティイベントの定番？となった「妊婦体験」は日常の色々な動作をしてもらいますが、妊婦さんからの要求に応えるパートナーの姿にクスッと笑みがこぼれる場面もあります。また西会場関連施設の「施設紹介」では各施設が工夫を凝らした内容で掲示し、来場された分娩予定の方からの質問にも対応します。なかでも数年前から始まった「寝相アート」は「映える」写真のニーズにあっているようで、家族で楽しめる人気のブースとなっており昨年から撮影箇所も増やしました。毎年（予算の関係で・・・）少しずつ撮影グッズを購入し、担当者がアイデアいっぱいの空間を演出してくれます。先日（7/12）第2回実行委員会を終え、ポスター・チラシ案が決まりつつあります。猛暑の折、くれぐれも体調管理に留意し元気いっぱい当日を迎えましょう。皆さまご協力のほどよろしくお願いいたします。



産後ケア（アウトリーチ）実施希望調査の結果

今年度より産後ケア事業（デイケア・ショートステイのみ）が香川県との集合契約となり、利用者にとっても、助産師側にとっても利用しやすい形となり、大きな混乱もなく4か月が経ちました。それと同時に実施する中で課題や検討事項も見え、産後ケア委員会を中心にシステムがスムーズに活用され、良い産後ケアが提供できるように検討しています。

さて、産後ケア事業の一つ、「アウトリーチ」に関して集合契約の話し合いが始まっています。開始時期や回数、ケア内容、料金等の詳細内容はまだ未定ではありますが、順調にいけば2026年度よりスタートされる予定です。行政からの依頼もありアウトリーチ実施希望調査を7月にオープンチャットでアンケートを行いましたので、報告いたします。

結果は32名の助産師が回答くださり、19名の方がアウトリーチを「希望する」と答えました。エリア別みると高松市・東讃エリアは助産師が確保できるのに対し、西讃・中讃エリアは助産師が少なく、中でもまんのう町、三豊市、観音寺市を担当しても良いと考える助産師は一人もいませんでした。

産後ケアに興味のある助産師の皆様、ぜひ活動の場が広がる機会です！ぜひ私たちと一緒に地域でお母さんと赤ちゃんのサポートをしませんか？産後ケアを提供するのにあたり、県助産師会として安全で質の高いケア提供のため、「産後ケア実務助産師研修修了」を推奨します。今年度の受講を是非お勧めいたします。

